

都立大泉高等学校同窓会・いずみ会誌

# 会報いずみ

## 第41号

会報 いずみ 第41号

発行 平成9年9月9日  
 編集人 宇多正行  
 発行人 田中英道  
 発行所 いずみ会  
 〒178 練馬区東大泉5-3-1  
 都立大泉高校内  
 ☎03-3924-0318  
 印刷所 旬一光印刷所  
 〒176 練馬区旭丘1-67-8  
 ☎03-3953-3336

### 会員数二〇、〇〇〇名を超える

### 今春 新会員二二五名を迎えて

創立五十二年を迎えいずみ会もその事業を順調に進めてきているが、この度母校の協力により本会の会員数が二万名を超えていることが確認された。

下のグラフの通り正会員(卒業生)は中学1期から高校48期迄と今春新入の高校49期会員三二五名を合わせて一九、八〇二名(物故会員を含む)になり、特別会員(現旧教職員)四四一名を合わせると二〇、二四三名となった。

また、ここ数年間で名簿の整備も大幅に進み、住所判明率は約七六%にも昇っている。懇親会の開催方法として行っている「6の会」「7の会」の企画も同期会開催のはずみになっており、ひいては住所不明会員発掘の大きな力となっているようだ。

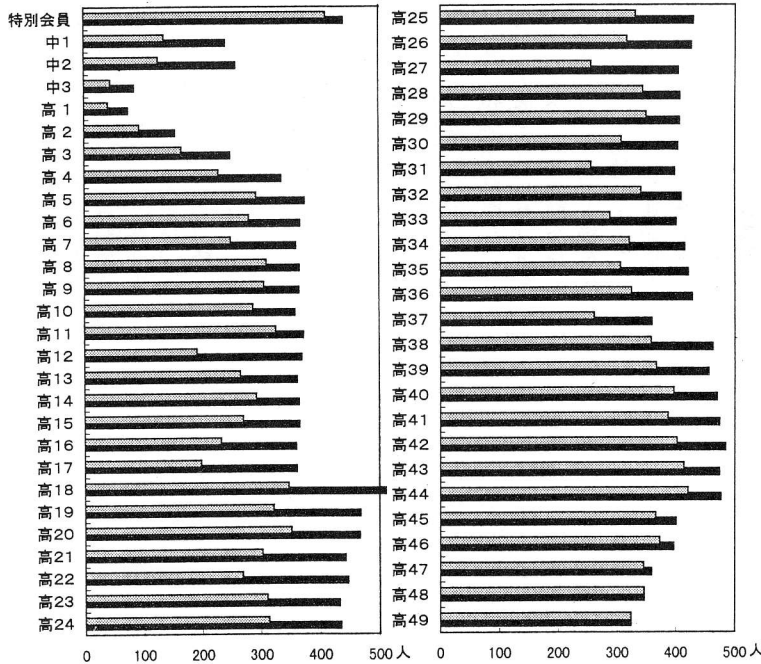
いずみ会が二万名を超える大きな会となった今、諸活動を通じて更に名簿を整備し、会の結束を強めて行ければと思う。

### 本年度

昨年からいずみ会総会・懇親会は大きく変わりました。

まず開催日が六月から一〇月にかわったこと、もう一つは懇親会の企画と運営を卒業期の末尾が西暦の末尾と一致する期に

□住所判明数 ■会員数



### いずみ会総会・懇親会 10月19日(日) 午後1時〜 母校にて開催(詳細は)

担当してもらうことです。これは同期の横の繋がりのみならず、学年を超えた縦の連携を深めると共に各期のアイデアを取り入れた懇親会にし、多くの会員に出席して頂くことが目的です。

今年(未尾が「7」の期)高校7・17・27・37・47期が「7の会」を結成し、準備に取り組んでいます。大きなイベントこそ考えておりませんが、OBOG合唱団のコーラス、懐かしい人の出席、同期会の開催など楽しみに企画を用意しております。

昨年は一〇〇名程の参加者でしたので、今年はそれ以上多くの皆さまにご出席頂き、楽しい会にしたいと考えております。

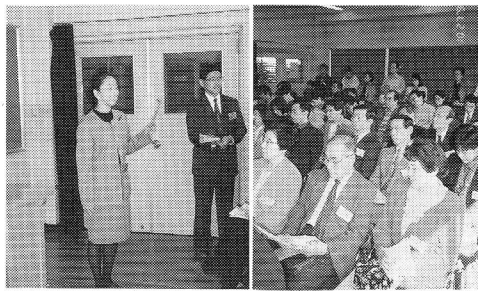


懇親会の会場にて  
— 中央は花崎先生 —

### 主な記事

- 8年度総会・懇親会報告 (2面)
- 「三つのテーマ」を掲げて—会長挨拶— (3面)
- 「いずみ会文庫」—校長挨拶— (4面)
- 幹事総会報告 (〃)
- 来年はいずみ会役員改選です (5面)
- ご注意—都議選におけるいずみ会名称無断使用について— (〃)
- 8年度事業報告・9年度事業計画 (7面)
- 緑蔭—会員の声— (8面)
- めざせ!女性の地位向上 (9面)
- 山下泰子さん訪問—
- 同期会だより (10・11面)
- 総会・懇親会のご案内 (11面)
- 「AERA」編集長大森千明氏に聞く (12面)

# 秋空の下 ——新方式は大成功——



総会一報告書に見入る先輩・後輩—

平成八年一〇月二七日、澄みわたった秋空の下、いずみ会総会・懇親会が母校大泉高校で開催されました。開催時期を六月から一〇月に移し、また懇親会の企画・運営を一九九六年に因み卒業期末尾六の期の幹事の方々を中心とした「6の会」にお願いした初めての試みでした。校長先生をはじめ恩師の先生方にも多数ご出席いただき、一七名の会員の方々の参加を得て大いに盛り上がりました。

総会は午後一時一五分から一号棟二階の多目的教室で開催さ

## いずみ会五十周年のパワー再び

「6の会」会長 高橋 保孝(高6期)

平成七年一〇月一四日、いずみ会五十周年記念祝賀会のお手伝いをして、大泉魂の相も変わらぬパワーを目の当たりにしました。高校6期は今まで梅沢やよひさんのみに忙しい思いをさせて申しわけなく考えておりましたので、引き続き微力ながらお手伝いをさせて頂くことになりました。

翌年六月の幹事総会で、例年参加者も少なく低調ないずみ会総会を、昨年の祝賀会のパワーを思い出し、各期が創意工夫して大いに盛り上げようとの改革



案が執行部から提起されました。平成八年は高校6期の多くが還暦を迎えるので、高校6期・16・26・・・と、下ひとけた「6」の期が集まり、主体的に懇親会を企画・立案して会をより活性化させたいとの趣旨でした。最年長の高校6期は出席者がたまた

れました。田中会長の挨拶から、いずみ会五十周年記念祝賀会開催報告、平成七年度活動報告、平成八年度の抱負と続き、吉野校長より母校の現況報告、宇多事務局長より平成七年度決算および平成八年度予算についての報告、茂木副会長より新役員紹介が行われ、約三〇分で終了しました。

引き続き、会場を隣の大会議室に移して懇親会を行いました。会場には既に料理と飲物が用意されており、「6の会」会長高橋保孝氏(高6期)の開催挨拶、茂木副会長の乾杯の音頭で懇談が始まりました。特設のリカーコーナーでは高校46期幹事による

私のみでしたので、自動的に「6の会」会長ということになりました。16期は鈴木哲氏・大場修一氏、26期は後藤卓也氏・沼田英一氏、36期は島村定夫・弘美ご夫妻、46期は土屋賢弘氏とメンバーが決まりました。事務局からも茂木・石井両副会長をはじめ多くの方々のご支援を受けて「6の会」が発足しました。

六月二日から一〇月五日まで計四回の会合で具体案を決定しました。会議の中で最も重きを置いたのは、出席者を百名以上にすること、そのための会員への連絡方法でした。いままで会報を利用した総会への誘いが不十分であったと感じていた私は、以前勤務していた某都立

ドリンクのサービスもあり、会員の方々の歓談の輪が会場一杯に広がりました。

この会の企画・運営を担当してくださった「6の会」各期のメンバー紹介やスピーチを交えて和やかな懇談の続くなか、参加者全員で校歌と校友の歌を斉唱しました。遠く過ぎ去った現役時代を懐かしく思い起こされた方も多かったようです。

「6の会」の高橋会長から「来年はよろしく頼みます」と高校7期の山田清子氏へ引継ぎが行われ、副会長石井の中締めの後、記念写真を撮影し、来年の再会を誓い合つて懇親会を終了しました。(高10期 石井晴士)

高の同窓会に做つて会報の発行月を総会の前月に移すことを提案し、了承されました。これが人集めに効果があったのではないかと自画自賛しております。お蔭様で前年は三〇名程度であった参加者が当日は一一七名の多くを数えることができました。なお懇親会の料理・飲物の準備には前副会長の鈴木哲氏に大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。本年度は「7」の期の皆様が更なる活性化を図っているという企画をされているようです。年一回の総会に出席し、多くの同窓の皆様と親しく接することが今後の人生を豊かにする一助になることを願っております。

### 参加者のひと言

新しい試みによる懇親会は、年齢の幅と厚み加わって和やかな集いでした。当番期の出席者の中で高校36期同志の二組のカップルが紹介され、いかに大泉高校らしい雰囲気、ほ、えましく思いました。

(高8期 宇田川公子) 卒業して二〇年くらいになろうか。あの先輩も、あの後輩もみんな二〇年の年輪を重ねてきているのだと実感する。一度刻んだ同窓の思いは永遠の絆であり、大泉高校を卒業したことはきつと、大泉家の一員になったかの如きものであろう。

### 母校の「秋」を見ませんか

「7の会」会長 山田清子(高7期) 今年のいずみ会総会の懇親会は音楽部OBOG合唱団の美しい歌声で始まります。そして懐かしい友人達との楽しい語り合い、適度なアルコールには話弾むことでしょうか。そこには思いがけない出会いがあるかもしれません。憧れていた先輩・可愛い後輩との交わり。親子ほどの歳の違いも、同じ場所学んだという思いが温かいひとときをつくってくれます。

お誘い合つては勿論のこと、お一人の参加でも充分に楽しむことができる会をと、「7の会」幹事一同、張り切つて居ります。是非大泉にお出かけください。



会長 田中 英道(中2期)

初秋の候、会員の皆様にはお元気でご活躍のことと思います。同窓会いずみ会は、この春に高校49期生三二五名を迎えて、会員数は二万人を超す大きな会となりました。また母校大泉高校では教職員一六名の転出および一四名の転入があり、大きな異動の年となりました。その中で高校11期会員の北上俊人先生が国語科の嘱託として赴任されました。英語科の佐藤克子先生(高13期)共々、いずみ会との大きなパイプ役として色々とお世話になることと思います。

昨秋のいずみ会総会は、懇親会を下一桁6の期の皆様に企画運営をお願いした結果、一七名の参加を得て、賑々しく盛大に開催することができました。今年も7の期の皆様のアイデアで楽しい会が計画されており、会員の皆さま方には今から予定を組んで楽しみにお待ちください。開かれないいずみ会、みんなのいずみ会を目指して、会務運営の透明化、会の活性化、経費節減につとめ、事業計画に沿った執行により会の基盤作り

# 「三つのテーマ」を掲げて

も着実に整いました。本会は二年前に創立五十周年記念事業を終え、日常の活動も順調に進んでおりますが、平穏な年度こそ反省を含めて、会員の皆様を何を望んでいらっしゃるのか、また限られた会費を如何に有効に使うか、出来ること必要なことをしっかりと見極めて事業を執行して行きたいと思っております。これらの観点に立って今年の幹事総会には以下の三つのテーマを掲げました。

- 一 広く会員に開かれないいずみ会へ
- 二 若い世代の参加しやすいいずみ会へ
- 三 事務局事務の簡素化

一は、昨年の会報第40号にも書きましたが、「広く会員の声が届く執行部」を心に、皆様からの沢山のご意見について、理事会で検討しご返事をお出しする等きめ細かく対応するとともに、会の運営に反映していこうと考えております。また、会の活動そのものを知って頂くために、各期の担当者の方とともに名簿を整備し、一人でも多くの方と会報を通じてコミュニケーションを図って参ります。

二は、特に若い世代の考えや力を積極的に取り入れるよう努力して参ります。具体的には昨

年七月、今年八月に新入幹事の方々と懇談会を開催して、いずみ会活動への理解を深めて頂き、今年三月には高校49期の入会式の際に新幹事一六名の任命式を新たに行いました。また、「6の会」「7の会」といった総会懇親会の企画運営の当番を通じて、三十代後半の期との活動を増やして参りました。

三は、会員数や会費収入の数字が年々大きくなるに従って増大する事務の煩雑さを、なるべく簡素化しようとする試みです。そのために名簿情報や会計データに関するコンピュータ化を一段と推進するとともに、各期の皆様との情報伝達方法を含めた仕組みづくりにも取り組んでいきたいと考えております。

各期の名簿の整備が進むにつれて、より多くの皆様に会報をお届け出来るようになってきております。しかし、それに伴い印刷費や郵送料が増大することも事実です。必ずしも財政基盤が安定しているとは言えないため、皆様には今後とも支援を願わなくてはなりません。そのためにも、皆様と私ども執行部が共に同じ方向をむいて進んでいく必要があると思っております。皆様のご協力を重ねてお願い致します。

## 新しい力に期待!



任命状を手に緊張

平成九年三月六日、体育館での卒業式予行演習の場において、新入会員の入会式を母校の協力のもとに執り行った。三二五名の新会員に対し、田中会長より

歓迎の挨拶があり、茂木副会長より本会の概要説明があった。今年から、予め選出された各クラス二名計一六名の幹事に前に出てもらい、会長から任命状を手渡すというセレモニーを行った。これは、同じ期なかで誰が幹事であるかを明確にする点で、非常に有意義なことであった。

また八月一日には、八名の新幹事を迎え、執行部との懇談会を開催した。本会の概要・幹事の役割について説明を行い、名簿整備等の協力を依頼するとともに、期の窓口役を元3年7組の加瀬哲也氏に引き受けて頂いた。

### 高校49期 いずみ会幹事

1組	山形 奏一郎	176	練馬区貫井1-29-12-301	3998-4917
	竹本 加奈	176	練馬区貫井3-14-16	3999-3025
2組	鈴木 高浩	178	練馬区大泉学園町2-32-20	3921-5749
	加山 茜	179	練馬区旭町3-32-1	3939-1057
3組	河合 裕	362	埼玉県上尾市中妻5-29-4	048-771-8878
	町田 夏葵	165	中野区上鷺宮1-24-27-5-302	3990-5041
4組	金田 健	178	練馬区西大泉1-32-12	3921-3626
	名嘉 扶美枝	177	練馬区南田中2-20-6	3904-5974
5組	矢部 武人	178	練馬区東大泉2-29-4	3922-5279
	神宮 司ゆき	179	練馬区水川台2-17-10-105	3933-5909
6組	加藤 太	165	中野区白鷺1-16-22	3337-4420
	今井 郁実	178	練馬区大泉学園町6-13-3	3921-4932
7組	加瀬 哲也	177	練馬区関町北3-29-9	5991-4365
	中村 幸世	178	練馬区西大泉1-16-5-106	3921-5693
8組	鈴木 圭	177	練馬区三原台3-13-17-202	3979-8751
	半田 恵子	176	練馬区練馬4-23-11.4FC	3993-8845

※ 幹事の役割は、幹事総会への出席の他、各期の名簿管理・会報の発送などです。高校49期の皆さんは、住所変更等ありましたら、上記幹事にご連絡ください。

# 「いずみ会文庫」

第十五代校長 吉野尚也

昭和十六年(一九四一年)の本校創立から今年で五十六年目。今春卒業した高校49期生を含め卒業生は二万名を越えました。

平成一三年(二〇〇一年)には本校の還暦である六十周年を迎えることとなります。それまであと三年余となりました。

そこで、同窓の卒業生各位に現在の校長として一つのお願いがあります。それは、学・医・官・政・財・芸・スポーツなど



## 幹事総会報告

平成九年度定時幹事総会は、五月二四日(土)午後一時より大泉高校会議室にて、はしり梅雨の降りしきる中、開催された。

真柳幹事(高24期)の司会で、その時点で出席者三五名と委任状二一六通は幹事総会の定足数を超えるので開会を宣した。田中会長の挨拶、議事録署名人の選出と続き、議長に土肥理事(高20期)が選出され、議事に入った。

平成八年度事業報告及び決算報告が執行部側からなされ、幾つかの質問の後承認された。平成九年度事業計画案及び予算案が

各界で活躍される本校卒業生の方々の出版物等を是非ともご恵贈賜りたいのです。それを、創立六十周年記念として「いずみ会文庫」と名付け、生徒達に読ませ・見せ・聴かせたいのです。きつと、在校生は先輩に対して尊敬や畏敬の念を抱くだけでなく、高く大きな一つの目標となるものと信じるからです。

歴史や伝統はそこに価値を見出ださぬ者には何等意味を感じないものかもしれません。しかし、具体的に文字やことば・映像や音楽等となり目の前に存在することに生徒達にとつては強いインパクトが生ずると

提示され、同じく拍手にて承認された。続いて宇多事務局長(高25期)より会長選出方法の改正及び記録部を総務・企画部に吸収する規約改正案に関する説明がなされ、質疑応答に入った。

数名の幹事よりこの案に対し質問や意見が活発に出され、熱心に討議がなされた。出された意見は「会長、副会長の選出を現行の幹事総会で選出する方法より、幹事総会で選出された理事の中から理事会で互選をする」という改正案の方が、より会長としてふさわしい人を選出でき

思っています。

そのうちに図書館等では収納しきれないと嬉しい悲鳴が聞かれる時が来るかもしれません。その時には、「いずみ会記念館」起草委員会でも発足しようではありませんか。

校門から続く樹齢五十年を経た大泉の桜並木は、今年も長い緑のトンネルをつくり卒業生各位のご来校をお待ち申し上げています。

\* \* \*

吉野校長先生からご提案いただいた「いずみ会文庫」に著書等を寄贈される方は、お名前・ご連絡先・卒業期もしくは卒業年を明記のうえ、「大泉高校 吉野尚也校長先生」宛にお送りください。

「という執行部の考え方に対して、「選出には会員や幹事が直接関われる機会をより広く持つ」という選出の仕方についての内容が主であった。長時間にわたり意見や修正案が出された後、規約改正案は一括裁決され僅差で否決された。賛成意見、反対意見及び修正案が多々出されたこともあり、今後、規約改正について再検討するか否かは執行部一任となった。しかし、記録部に関する件では動議が出され、この改正案については問題無しということで拍手にて承認された。

## 教職員人事異動(敬称略)

▼転出・退職(新任校)

- 英語 松原陽介(竹早・嘱託)
- 英語 岩切綾子(退職)
- 国語 長谷川悦子(東村山・教頭)
- 社会 松田隆男(武蔵)
- 数学 山本 豊(田柄)
- 音楽 岡本康彦(竹早)
- 英語 露木惣一(東大和)
- 英語 児島真行(桜水商業)
- 国語 藤原弘道(退職)
- 社会 佐藤照子(退職)
- 司書 佐元光子(上野・嘱託)
- 事務 嵯峨信男(蒲田)
- 事務 青木美知江(新宿都税)
- 事務 長田尚子(田無)
- 事務 高橋恭子(都地労委)
- 事務 早川作造(久留米養護)

▼転入(前任校)

- 社会 石原美之(府中西)
- 数学 矢萩章夫(明正)
- 音楽 笠原恵子(八丈)
- 英語 町田俊子(田無)
- 英語 磯 満(武蔵野北)
- 英語 山本美園(四谷商業)
- 国語 北上俊人(久留米)
- 社会 園山繁義(向ヶ丘)
- 司書 丹羽敬子(昭和)
- 事務 中川 卓(中央市場)
- 事務 西尾誠司(交通局)
- 事務 両角八博(福祉局)
- 事務 川口禮子(水元)
- 事務 笠原英雄(片浜養護)

※北上俊人先生は、大泉高校の卒業生(高11期)です。

ずみ会とは「7の会から」慶弔規定「役員改選」会報の情報提供「名簿ラベルサービス」新入幹事紹介について各担当者より報告があった。

「その他」として、学校からの連絡事項が佐藤先生(高13期)よりあった。また一会員の都議選事前活動について宇多事務局長より事実説明があり、いずみ会

は会員の選挙活動について何ら関与していないことを確認した。その後議長解任をし、石井副会長(高10期)の閉会の挨拶をもって散会した。

【記録】

◇登録幹事数630 ◇出席幹事数48 ◇委任状数216

<出席幹事> 永川俊彦(中1)、田中英道(中2)、加藤正照(中2)、篠匡昭(高6)、高橋保孝(以下略6)、岡野朝子(7)、鈴木謙(7)、茂木光男(8)、岡崎美代子(8)、大軒史子(9)、石井晴士(10)、加藤勇(11)、椎葉亮一(11)、富田順子(11)、板橋昭寿(12)、小野田敦子(12)、山本章義(13)、佐藤克子(13)、國谷俊之(14)、鈴木哲(16)、大場修一(16)、大山美智子(17)、中村謙(18)、寺章夫(20)、塩田高久(20)、土肥曉美(20)、尾松恭子(21)、植村久(21)、萩原正俊(23)、真柳仁(24)、宇多正行(25)、吉田寛(25)、宮川修作(25)、沼田英一(26)、飯田良弘(27)、西澤正博(28)、野島陽子(28)、大石憲司(29)、篠茂之(30)、山本孝文(30)、仲沢浩一(32)、伊藤勲(40)、竹本加奈(49)、半田恵子(49)、名嘉扶美枝(49)、矢部武人(49)、中村幸世(49)、神宮司ゆき(49)

◇議事録署名人 國谷俊之(14)、山本孝文(30)

# いずみ会規則の一部を改正しました

平成九年五月二四日行われた幹事総会において、いずみ会規則が左記の通り改正されました。

## 記

いずみ会規則の一部を改正する規則案  
いずみ会規則の一部を次のように改正する。  
第4条中「5部」を「4部」に改め、同条第3号を削り、同条第

4号を第3号とし、同条第5号を4号とする。

## 附則

この規則は平成九年五月二四日から施行する。

## 規則の改正理由

改正の骨子は、記録部を廃止し総務・企画部に吸収することです。その理由は以下の通りです。

## 来年はいずみ会役員改選です

いずみ会の現在の役員については、平成九年度をもってすべての役員の任期が満了となります。そこで、次のとおり、次期役員選挙手続きについてご連絡いたします。

1 平成一〇年六月七日(日)に行われる定例幹事総会において、いずみ会役員選挙を行います。

2 役員選挙における立候補届ならびに推薦届の提出期間は平成九年九月一日から平成一〇年三月末日までとします。

3 立候補届・推薦届については、左記の事項を明記のうえ、いずみ会選挙事務局宛提出してください。(記載漏れがある場合には、無効となる場合があります。)

〒170 豊島区目白二二二  
平口ビル四F (衛寺設計内)  
いずみ会選挙事務局  
☎〇三―五三九一―九九〇一  
Fax 〇三―五三九一―九九〇二

## 記

- ① 立候補または推薦する役員の種類(会長・副会長・理事・監査役)
  - ② 立候補者または被推薦者の氏名、期(または卒業年度)住所、電話番号
  - ③ 推薦届の場合、推薦人の氏名、期(または卒業年度)、住所、電話番号
  - ④ 立候補または推薦の理由(二〇〇字以内。幹事総会招集通知の候補者紹介に転載いたします。)
- なお、いずみ会の事務を手伝ってくださる「事務局幹事」についても併せて募集しております。

## ご注意

### 都議選におけるいずみ会名称無断使用について

「記録部」は、いずみ会の活動を記録することを目的として設置され、記録する目的は従前のいずみ会の活動の確認とそれを前提に今後のいずみ会の活動方針を検討することであり、その重要性を否定するものではありません。記録の作業自体は活動を行った各が行い、それを総務・企画部がとりまとめ保管し、また活動の検討は総務・企画部を中心とする仕事となります。「記録」を十分に活動に反映するため「記録部」を独立した部とするより、総務・企画部に吸収するといふものです。

### 会員の慶弔について

平成九年五月二四日行われたいずみ会幹事総会において、いずみ会会員の慶弔事について、内規として以下の通り取り扱うことが決まりました。

- 1 特別会員(現旧教職員の方)が亡くなられた場合には、いずみ会会長名で弔電を差し上げ、また、会報に訃報記事を掲載する。
- 2 正会員(卒業生及び在籍したことがある方)が亡くなられた場合には、会報に訃報記事を掲載する。
- 3 訃報については総務・企画

先般行われた東京都議会議員選挙にいずみ会会員が立候補するに当たり、「大泉高はいずみ会」の名称を印刷した封筒を用いて、選挙区内のいずみ会会員に支持を依頼する書面を送付しました。当該会員は平成五年に行われた選挙においても同様な行為を行い、当時のいずみ会執行部が抗議し、今後そのような行為を行わないと約束したにも拘わらず、再び同じような行為を繰り返しました。また、右封書を受け取った何人かの会員から、いずみ会執行部に対して、いずみ会が一會員の選挙運動を支持しているのかとの抗議の意味を含めた問い合わせがありました。

執行部としては、会に無断で選挙運動にいずみ会の名称が使用されたことから、五月二四日に行われた幹事総会に報告の上、当該会員に対し書面で正式に抗議するとともに、いずみ会の支持・推薦を受けていない旨の書面を選挙区内の会員に選挙前に送付するよう求めました。しかしながら、当該会員は、誤解を与える表現であったという形では詫言したものの、上記表示はいずみ会であることを表示したものに過ぎないと主張しました。また、訂正の書面については選挙後速やかに発送すると回答し、選挙前の発送には応じませんでした。

部を連絡窓口とする。なお、現時点では、会員の弔事についてのみ、会として対応することになりました。会員数もかなり増えてきたため、いずみ会としても会員の動向を必ずしも把握しきれないところもあります。会員の方の訃報に接しました際には、以下の連絡先までご一報頂ければ幸いです。

〒178 練馬区東大泉五三二一  
都立大泉高校内  
都立大泉高校同窓会  
いずみ会 総務・企画部

ところがその後、当該会員から選挙区内の会員宛に選挙事務所移転の葉書が郵送され、また、当該会員は選挙後にいずみ会会員宛に当選御礼の葉書を送付したものの、いずみ会の支持・推薦を受けていない旨の書面を選挙後に速やかに発送するといふことを実行しませんでした。いずみ会執行部としては今回このような事態がおきたことを非常に残念に思っておりますが、会員の皆様には、いずみ会が政治的には全く中立の立場をとっていることをご理解頂くとともに、今後、会の名称を使用した選挙活動等が行われても、本会が当該会員を支持・推薦することは一切ありませんのでご注意ください。

平成9年度いずみ会予算

平成8年度いずみ会決算

平成9年3月31日

【収入の部】	
(1)新入会員入会金(325人)	1,625,000
(2)本年度分会費(2,491人)	2,491,000
(3)寄付	730,000
(4)総会参加費	200,000
(5)雑収入(利息・祝儀等)	50,000
(6)前期繰越金	4,956,218
(7)名簿・50周年記念誌売上	50,000
<b>収入合計</b>	<b>10,102,218</b>
【支出の部】	
(1)総会費	
1.開催費	300,000
2.準備費	100,000
(2)役員・幹事会合費	
1.幹事総会開催費	180,000
2.理事会・役員会費	100,000
3.部会・委員会費	80,000
4.新入幹事会合費	30,000
(3)監査役会費	10,000
(4)会報費	
1.印刷費	500,000
2.発送費	1,600,000
3.封書費	150,000
4.会報作成費	60,000
(5)会費徴収経費	
1.口座振替手数料	46,830
2.振込用紙印刷費等	50,000
(6)名簿調査管理費	300,000
(7)母校連絡費	150,000
(8)新入会員向け名簿作成費	150,000
(9)雑費	50,000
(10)名簿積立金支出	600,000
(11)予備費	100,000
(12)設備・什器・備品費	
1.パソコン(ハード)	350,000
2.パソコン(ソフト)	50,000
(計)	4,956,830
(13)次期繰越金	5,145,388
<b>支出合計</b>	<b>10,102,218</b>

【収入の部】

科目	予算	決算
(1)新入会員入会金(346人)	1,730,000	1,730,000
(2)本年度分会費(2,262人)	2,262,000	2,262,000
(3)寄付	1,039,000	1,039,000
(4)総会参加費(115人)	60,000	219,500
(5)雑収入(利息・祝儀)	100,000	52,725
(6)前期繰越金	2,368,158	2,368,158
(7)50周年祝賀会残金	1,204,026	1,204,026
(8)名簿・50周年記念誌売上	100,000	504,000
<b>収入合計</b>	<b>8,863,184</b>	<b>9,379,409</b>

【支出の部】

(1)総会費	300,000	376,209
(2)役員・幹事会合費		
1.幹事総会開催費	130,000	138,022
2.理事会・役員会費	70,000	80,982
3.執行部運営費	60,000	1,310
4.部会・委員会費	70,000	67,230
5.新入幹事会合費	100,000	57,690
(3)監査役会費	10,000	6,000
(4)会報費		
1.印刷費	350,000	509,850
2.発送費	1,500,000	1,602,621
3.封書費	150,000	155,115
4.その他諸経費	50,000	13,684
(5)会費徴収経費		
1.口座振替手数料	63,080	63,080
2.振込用紙印刷費等	50,000	39,140
(6)名簿調査管理費	500,000	263,731

科目	予算	決算
(7)母校連絡費	100,000	145,756
(8)新会員向け名簿作成費	200,000	0
(9)雑費	50,000	106,551
(10)名簿積立金支出	400,000	400,000
(11)予備費	100,000	0
(12)設備・什器・備品費		
1.パソコン(ハード)	350,000	357,101
2.パソコン(ソフト)	50,000	39,119
(計)	4,653,080	4,423,191
(13)次期繰越金	4,210,104	4,956,218
<b>支出合計</b>	<b>8,863,184</b>	<b>9,379,409</b>

いずみ会財産

平成9年3月31日現在

【現預貯金】	会計係手持現金	99,846
	普通預金	4,856,372
	定期積立預金	1,600,000
	郵便貯金	3,047,264
	定額貯金	14,050,000
<b>合計</b>		<b>23,653,482</b>
【内 訳】	前受会費等	17,097,264
	一般会計次期繰越金	4,956,218
	名簿積立引当金	1,600,000
<b>合計</b>		<b>23,653,482</b>
	高校40周年記念誌	50冊
	同窓会名簿(50周年記念版)	974冊
	高校50周年記念誌	255冊
	パソコン	2台
	プリンター	1台

大泉高校 新・旧卒業生の進路状況

(平成9年6月現在)

【国公立大学】

【私立大学】

【短期大学】

大学名	新卒	旧卒	合計	大学名	新卒	旧卒	合計	大学名	新卒	旧卒	合計	大学名	新卒	旧卒	合計
北海道	1	0	1	独協	2	6	8	中央	10	7	17	青山女子	13	0	13
東北	0	1	1	青山学院	6	4	10	東海	2	3	5	跡見女子	1	0	1
筑波	0	1	1	亜細亜	2	4	6	東京経済	4	0	4	大妻女子	3	0	3
埼玉	3	3	6	学習院	5	5	10	東京電機	3	11	14	学習院女子	2	0	2
千葉	4	0	4	慶應義塾	3	5	8	東京農業	4	1	5	共立女子	3	0	3
東京学芸	2	1	3	工学院	3	7	10	東京理科	3	5	8	武蔵野女子	1	0	1
東京農工	0	2	2	国学院	2	3	5	東洋	12	22	34	立教女学院	2	1	3
東京外国語	1	0	1	上智	2	2	4	日本	24	15	39	その他	19	2	21
電気通信	1	0	1	駒沢	5	11	16	法政	10	13	23	合計	44	3	47
一橋	0	1	1	芝浦工業	4	5	9	武蔵	6	13	19	専門学校等	20	4	24
都立	4	3	7	女子栄養	1	0	1	武蔵工業	1	2	3	就職	1	0	1
その他	3	6	9	成蹊	10	10	20	明治	4	20	24				
合計	19	18	37	成城	0	1	1	明治学院	0	1	1				
				専修	6	4	10	立教	9	7	16				
				大東文化	7	6	13	早稲田	10	14	24				
				玉川	1	1	2	その他	73	55	128				
								合計	234	263	497				

## 平成8年度 事業報告

- 第1 いずみ会総会  
平成8年10月27日(日)母校において開催した。下一桁が6の期「6の会」を結成し、企画立案、運営にあたったが、150名ほどの参加者を得、成功裡に終わった。
- 第2 定時幹事総会開催  
平成8年6月2日(日)母校にて開催し、役員改選、平成7年度決算・事業報告の承認、平成8年度予算・事業計画等を承認した。
- 第3 会報の発行  
平成8年9月15日(日)に第40号を発行し、約14,300名の会員に発送した。内容としては、平成7年度決算・事業報告、平成8年度予算・事業計画、50周年記念事業報告、新役員紹介等であった。
- 第4 データベースの完成、名簿クリーニング方法の確立  
平成7年度より行ってきた各会員の名簿、会費納入状況等のデータベース化が一応完成した。平成9年3月15日(土)、各期の名簿担当者と会合を持ち、名簿のクリーニング方法等について話しあった。
- 第5 高校との懇談会の開催  
平成8年7月6日(土)、吉野校長はじめ学校関係者3名と懇談会を開催し、お互いの協力を確認した。
- 第6 新幹事(48期)との懇談会開催  
平成8年7月13日(土)、新幹事との懇談会を開催し、新幹事6名が出席した。
- 第7 入会式の開催  
平成9年3月6日(休)、母校体育館において新卒業生(49期)325名に対し入会式を開催した。また、田中会長より49期の幹事16名を任命した。

## 平成9年度 事業計画

- 1. 広く会員に開かれたいずみ会へ
- 2. 若い世代の参加しやすいいずみ会へ
- 3. 事務局事務の簡素化をはかる
- 第1 総会開催  
平成9年10月19日(日)母校にて開催予定。昨年度から当番期を決めて、総会懇親会の企画立案をすることとし、本年度は下一桁が7の期が「7の会」を結成し、それに当る。
- 第2 定時幹事総会開催  
平成9年5月24日(土)母校にて開催。定例の議事のほか、会長、副会長を理事の互選とする、記録部を総務・企画部に吸収するなどの規約改正案を討議。
- 第3 会報の発行  
いずみ会報第41号を9月に発行。内容としては、平成8年度決算・事業報告、平成9年度予算・事業計画、平成9年度総会案内、平成8年度総会紹介、選挙に関する通知、規約改正等の記事を掲載。
- 第4 データベースの完成、名簿、会費管理体制の確立  
データベースによる名簿、会費管理システムをさらに軌道に乗せる。各期の名簿担当者との懇談会を開催し、名簿情報管理の充実をはかる。
- 第5 会費納入の促進。  
会費納入制を導入して4年目に入るが、引き続き納入の呼びかけを続け、会員に周知をはかる。
- 第6 高校との懇談会の開催  
母校との関係強化のため、平成9年7月12日(土)開催。
- 第7 新幹事(49期)との懇談会開催  
若い期のいずみ会への参加意識を高めるため、平成9年8月1日(金)新幹事との懇談会を開き、いずみ会活動への参加、期の名簿の維持管理を依頼。
- 第8 入会式の開催  
来春の卒業式予行後に新卒業生(50期)に対し、いずみ会の会員となることの意義を伝え、会長より新幹事を任命する。



住所追跡の名人たち!

## 名簿幹事懇談会 開催

三月一五日に石神井公園の野台地域集会所において名簿部主催の懇談会が開催され、各期の名簿担当者三五名にお集まり頂きました。この会は、五十周年記念名簿作成を機に、いずみ会と担当者が今後とも親睦を深めながら情報交換を密にしていけるようにと、昨年から始まったものです。

初めに吉田部長から開会の挨拶と共に、現在進められている名簿のパソコン入力化が終われば管理が簡略化し、最新の宛名ラベルの打ち出しも可能であるとの報告がありました。おしい料理を囲みながら、各期の担当者の皆さんから活動報告を伺いました。毎年同期会を開いている期もあれば、まだ幹事が決

まっていけない期もあり、スタートラインはまちまちといったところです。恒例になりつつある茂木副会長の手品と、それに勝る話術のお陰で会は今年も盛り上げました。

場所を変えての二次会ではさまざまな苦労話(でも楽しそう)や意見を伺いました。高校時代の名簿を引っ張り出して保護者のお名前を頼りに電話帳をしらみつぶしに捜された話など、頼もしい限りでした。

また後日談ですが、担当者以外の方がお手伝いを申し出られたり、クラブ等の縦のつながりからご協力いただいたりと、そんなうれしい輪も広がっています。この一年で更に大きく飛躍できそうな予感の懇談会でした。

### コンピュータ化 運用開始(名簿部)

コンピュータによる管理がやつと緒についたところですが、日々の訂正等に十分対応できるソフトの完成に至っておりません。現段階では、年一度出力したりリストを各期の名簿幹事の方に朱書きをして頂き、期による方法を採用しています。期によっては「フロッピーでの修正を」という声もありますが、今しばらくお待ちください。

※会員の皆さまは、住所変更等ございましたら、必ず期の名簿幹事もしくは同封のハガキでご連絡ください。

# 緑陰——会員の声——

☆母校や同窓会にまつわるご意見・エピソードなどを、会員の方から募集しています。日ごろ感じている思い、皆さんに是非知って欲しい話などを事務局までお寄せください。

## 母校の教壇に立つて

北上俊人(高11期)

この四月から、囑託として、大泉高校で国語の教科を担することになりました。

新しい職場に馴れるまでは、母校への懐かしさを味わう余裕はなかなかありませんでしたが、ひとたび教室に入って話し始めると、つい思い出話が噴き出してしまいます。純朴な一年生が

じっと私の話に聴き入っていて時々微笑をもつて応えてくれるに至っては、よくぞ母校に勤めたりと思わずにはいられません。が、今後は授業の薬味程度にしようとしております。

ところで、今夏初めて、大泉高校の野球部の公式戦を、準々決勝まで五回続けて八王子市民球場で観戦しました。選手も力を尽くして闘いましたが、応援団とプラスバンドも一体となって迫力ある応援を続けました。生徒たちは、総じて、この大泉高校でいろいろなことを学び、体験して、自分自身の成長を図ろうとしています。この高校はそういうことができる場であると考えているのです。かつて数十年前の我々が、そのように考え、大泉高校を有効に利用したように、その気風は今やしっかり根付いていました。私の役目

は、その気風が枯れないように見守ることだと思っています。

\* \* \*

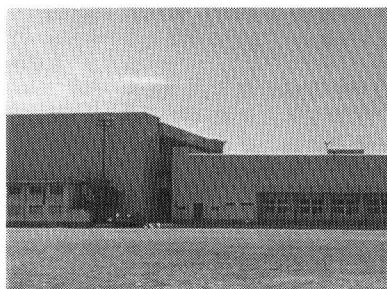
※野球部は、今夏の甲子園地区予選西東京大会において、一昨年に続いてベスト8入り(都立勢では唯一)を果たしました。

七月二五日には、強豪創価高校と対戦しましたが、惜しくも準決勝進出はなりませんでした。

- △大会成績▽
- 都大泉 6-10 都農業
  - 都大泉 2-11 都保谷
  - 都大泉 7-13 都日野
  - 都大泉 5-11 都富士森
  - 都大泉 1-11 創価

## 写真で綴る体育館の変遷

昔、大泉高に体育館・講堂がなかったころ、生徒総会等の行事は殆ど中庭で行っていました。待望の体育館は、昭和三〇年



現在の体育館(左側建物。右はプール棟)中に柔道練習場を兼ねた和室もあります



初代体育館の解体(昭和58年10月28日)

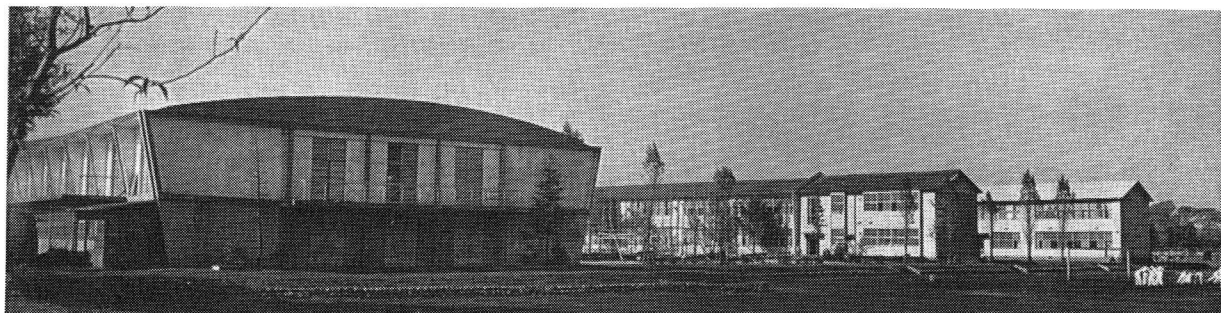
一二月落成。そして、二九年間の働きを終え、昭和六〇年に現在の体育館にバトンタッチしました。

## 幹事総会は「小さな国会」

神宮司ゆき(高49期)

いずみ会から幹事総会の知らせが届いて、何となく出席してしまつた新入会員の私ですが、出席してみても良かったと思ひました。

初めは退屈な時を過ごすことになりそうだと思つていましたが、会が進むにつれて、あちこちから意見が出てきて、討論になつたりすると、そこは一転して『小さな国会』を思わせる空間へと変わりました。たまに屁理屈だと思ひ意見もあつたりして、大人でも感情が高まるとおかしなことを言うものだなと思ひましたが、真剣に母校のことを考えている姿を見ると何だかとても嬉しくなりました。



グラウンドから見た校舎全景(左側が初代体育館) 一左ページ山下さんのお話もご参照くださいー

★お悔やみ申し上げます★

【特別会員】

杉田 豊子(英語)

平成9年5月27日逝去

【正会員】

中学1期 佐藤 亮一

平成9年6月22日逝去

中学2期 藤本 学

平成8年10月30日逝去

高校1期 中田 光一

平成7年3月20日逝去

高校2期 大塚 謙信

平成8年5月4日逝去

高校2期 鴨志田信也

平成7年12月23日逝去

高校3期 鎌田 良一

平成8年6月7日逝去

高校3期 野島新一郎

平成7年3月19日逝去

高校6期 中村 実

平成8年11月21日逝去

高校7期 松田 経彦

平成8年11月21日逝去

高校8期 田中 冬樹

平成8年6月27日逝去

高校9期 金子 温巨

平成8年12月24日逝去

高校9期 神立志津子

平成9年4月5日逝去

高校12期 北川 紀一

平成5年10月1日逝去

高校13期 内藤 靖寿

平成8年3月24日逝去

高校13期 山岸 太平

平成7年10月28日逝去

高校20期 酒井(川端)克己

平成7年6月23日逝去

※今号から、正会員(卒業生)の方の訃報も掲載することになりました。

お知らせの同窓の方で亡くなられた方がいらつしやいましたら、お知らせください。

(詳細記事5面に掲載)



# めざせ! 女性の地位向上 山下泰子さん訪問

女性の差別問題・地位向上にとり組み、国際的に活躍されている高校9期の山下(旧姓大塚)泰子氏を、中村謙会報部長(高18期)が、山下氏と幼な馴染みの加藤勇氏(高11期)と共に東大泉にあるご自宅に訪問しました。

## 女性差別撤廃条約とは

**加藤** お久しぶりです。  
**中村** 早速ですが、簡単な自己紹介をお願いします。

**山下** 所属は文京女子大学経営学部教授です。専門が「女性差別撤廃条約」の研究ですので、女性

の視点からとらえた法学、国際女性学の講義・ゼミを持っています。「女性差別撤廃条約」は世界女性の憲法とも、バイブルとも言われているもので、現在一六四ヶ国が条約締結国です。

他に「国際女性の地位協会」常務理事です。会長は赤松良子さん。事務局は私の研究室です。

**中村** 国際女性の地位協会とは、**山下** 女性が政治・経済・社会・文化など、いかなる分野でも差別されない社会の実現を目標に一九八七年にスタートし、機関誌「国際女性」(年刊)や研究書の刊行、シンポジウムの開催などの活動をしています。九五年北京での、第四回「世界女性会議」に三五名の会員が参加し、各国の活動家と交流を深めました。

**中村** 「国連婦人の十年」は大きなステップでしたね。  
**山下** ええ、一九七五年から八五年でした。その中で、七九年国連総会で「女性差別撤廃条約」が採択され、日本では八五年批准、この年に「男女雇用機会均等法」が制定されました。

**加藤** 男女雇用機会均等

## 山下泰子

(やました・やすこ)  
高9期。中央大学大学院法学研究科博士課程単位取得。法学博士。文京女子大学教授。国際女性の地位協会常務理事。主要な著書『女性差別撤廃条約の研究』(共著)。全日本一連盟公認指導員。

法は、世界の動きと連動したもののですね。

**山下** そうです。日本では、国連の女性問題に関する活動はほとんど報道されることがないので、毎年春、私どもの会で、報告会をします。

## 初の女性生徒会会長

**中村** 山下さんは、大泉高校生徒会初の女性会長ですね。  
**山下** はい。二年の時です。私の家から母校の校庭が見えるのですが、今でも体育祭を見ると、当時ファイアー・ストーム禁止の方針に抗議した事を思い出します。

もう一つは制服制定に反対したこと。あの頃多くは、男子は詰襟かブレザー、女子もブレザーかセーラー服でしたが、それでも服装には自己主張がありました。現在のカラフルな通学姿に出会う度に、あの時の私たちに生徒会活動を思い、後輩の未来にエールを送りたくります。

**中村** 私たちの頃も標準服がありました。  
**山下** それから体育館兼講堂が出来、その当時の松村謙三文相

を、清水安麿校長とその御報告に訪問したことも思い出です(左上写真)。

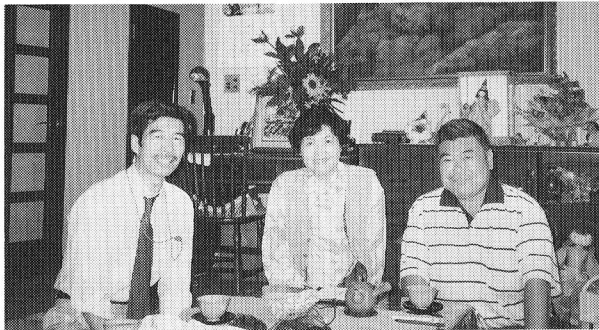
## 小中高時代

**山下** 今日は昔お隣りだった加藤さんに会って、小学生に戻った気分です。

**加藤** あのころ、お父上の大塚三七雄先生は附属小の校長先生でしたね。

**山下** はい、当時は「第三師範・附属小学校」と言っていました。一九四四年一月大泉に爆弾が落ち、入学前の私は、母と二人、群馬に疎開しました。戦後戻ってきて、附属小・中から大泉に入りました。

**中村** その頃の大泉の風景は、現在とは大変な違いでしょうね。山下さんの子ども時代をもっとうかがいたいのですが、時間の都合上、ライフ・ワークを承って終りたいのですが……。



左より中村、山下、加藤の各氏

「男は仕事、女は家庭が女性差別の意識だと

言われる山下さんの、夫婦別姓の問題(だれもが別姓に、ではなく自由な選択を、の立場)など興味深いお話や、たまたま在宅された夫君の山下威士氏(新潟大法理学部教授)も加わっての、最近の大学生気質の議論も大いにはずんだのですが、紙面の都合で載せられませんでした。別の機会に掲載できればと希っております。

**ネパールに学校を**  
**山下** 今年で五年目ですが、ネパールで女性問題のフィールド・ワークを続けています。ネパールを選んだのは、全く個人的な動機で、ヒマラヤのトレッキングからおつき合いがはじまりました。一旦問題意識を持ち始めると、これ以上のはないと思います。

(高9期・大軒史子)

# 同期会だより

## 高校5期

男女共学  
最初の期  
石田 要久

校門から校舎へと続く桜並木を通い終えてもう何年になるだろうか。高校5期の同期会は、年一回、当番を交代しながら恒例の行事として続いている。

平成九年度は六月七日に数寄屋橋のニュートキヨー本店で先生四名を含む五四名で行った還暦を過ぎると、そろそろ体の不調を訴える者もあり、物故者も出ている。開会に先立ち、故人の冥福を祈り黙禱を捧げる。

会は、高橋茂先生の乾杯の音頭で華やかに始まり、閉会までの二時間はあつという間に過ぎて、もの足りず多くが二次会へと流れていった。

高校5期は、国民学校で神国日本の教育を受け、戦場にこそ行かないが日本の勝利を信じて疑わなかった、戦争の実体験者である。そして終戦の瞬間から教育改革を初めとした大きな変化の中へ放り出され、経済発展とともに、慌ただしく駆け抜けてきた世代でもある。本格的男女共学の最初でもあった。そして、この歳になれば同期会も女性の天下のような気がする。

## 高校12期

日残りて昏るるに  
未だ遠し  
板橋 昭寿

記録的な強風の二月二二日(土)飯田橋のレストランで第二回同期会を開催。

二組の同期同士の夫婦を含め七〇名の参加。橋本、畑野、土屋、永嶋の諸先生方のご出席で前回以上に盛り上がりました。「あら、久し振り」「元気そうだな」から始まり、体型の話、健康の話、癌になった人、年寄りの介護、子供たちの話は可愛げが



あの頃の思い出は尽きず

なくなり、孫でマゴマゴ、そして自分たちの老後……。いつの間にもやら五五才を過ぎた、もりの山の話。順送りのスピーチも内容の傾聴ははてさて「なのに、終わった時の拍手は盛大。お互いの記憶のずれを、何人かでの調整しながら、引続きの二次会も含めた約五時間、さながら花火大会の様相。「チトセノムカーシ ユクスエハー」と、何故か少々時代のずれる「アカーイユーヒガ コウシャソソメーデー」と高歌放吟して散会。

## 高校15期

ひとときだけでも  
青春！  
森田陸四郎

一九九六年十一月二三日(出勤)労働感謝の日、新宿ワシントンホテルにて八〇数名が参加、当日は、堤治美先生(体育)、土屋光道先生(社会)、甲賀(宮村)多重子先生(体育)にもご出席いただきました。

会は、宴会部長C組奥村君の司会で始まり、先生の挨拶、各組出席者の紹介、楽しく懐かしい日々のスライド上映、甘くそしてほろ苦い青春時代の歌を合唱するなどあつという間の二時間でした。

三十数年前にタイムスリップしたほとんどの人は、現実の世界に戻るのを拒否するかのよう

に二次会・三次会に流れ、それぞれ旧交をあためていたようでした。  
高校15期は一九八六年から隔年、一月下旬の土曜日に同期会を開催し、今回で六回目になりました。来年(一九九八年)の同期会は趣向を変え、箱根あたりで一泊を考えています。今回出席できなかった皆さん/来年の同期会に参加し、ひとときだけでも青春時代に戻りましょう。

## 高校25期

私たちの桜並木  
相京 典子

高校25期は、とても同期会に恵まれ、昨秋、第三回目を開催するに至った。毎回の準備は大変であるが、25期の名物である名幹事団?のパワーの結集によ



やっぱりウーマンパワー



いま、青春!



幹事さん、全員集合

### いずみ会総会・懇親会のご案内

年一回、いずみ会会員が集い、親睦を深める場、それが総会です。

昨年から日程を変更し、秋に開催しています。

と き：平成9年10月19日(日)

12時30分～	受付開始
13時～	総 会
13時30分～	懇 親 会
15時30分	終了予定

ところ：母校 多目的教室・大会議室

会 費：中1期～高36期	2,000円
高37期～高46期	1,000円
高47期～高49期	無 料

★参加される方は、同封のハガキを9月30日迄に投函してください。

★関連記事が1・2面にありますのでご参照ください。

り、今回も大盛況に終わった。当日は八〇名程の出席だったが、会場は懐かしい先生方や友人との再会で喜びや活気に満ち溢れていた。あちこちで挨拶が飛びかいた、話の輪が広がっていき。楽しかった授業や部活、私たちを見守ってくれたあの桜並木。青春を一途に過ごした少年少女時代を一気に思い出し、不思議と気持ちはあの頃に戻ってしまう。更に初恋話に熱くなり、一〇組以上誕生した同期生夫妻の話題に盛り上がった。こうして会も校友の歌で開

って快調に練習を続けています

### 音 楽 部

ユニークな  
音楽談議も好評  
小川陽弘(高3期)

きとなり余韻を残しながら始どが二次会へ。更に友人夫妻経営の洒落た喫茶店での三次会を出たのが何と二三時近くだった。盛り上がった同期会を振り返り、先生や友人という大切な存在と同時に同期会の素晴らしさを改めて思うのである。



指揮も若くノ岡部先生

ご指導は岡部守弘先生。ピアノ伴奏は高校25期の上川路由紀子さんが担当されています。岡部先生の指導の素晴らしさは有名ですが、練習の合間のユニークな音楽談議も好評です。練習会場は昨年九月から母校の皆さんのご好意で音楽室を拝借できることになり、練習にも一段と熱が入ってきました。練習日は原則として毎月第一金曜日、午後六時半からです。現在は岡部先生の編曲による「カタロニア民謡「鳥の歌」、唱歌「ふるさと」おほろ月夜」などを練習しています。比較的軽い曲をじっくりと歌うことを目指しています。

いつからでも参加でき、年齢を超えて仲良く楽しく、演奏会などにも参加することを目標に練習していますので、今後も多くの新人の参加を歓迎します。

### サッカー一部

#### 創部五十周年

栗原正成(高20期)

去る四月六日(日)母校に於てサッカー部創部五十周年記念祝賀会が行われた。当日は生憎の雨で、グラウンドでの試合は中止となったが、体育館でフットサル(五人制ミニサッカー)を実施した。一面は若手OB中心。もう一面は、往年の名選手で今は大津大学教授や高体連の要職にある超OB等が、招待した立川FCレディズ(女子中高生中心)を相手に息を切らせ乍らも好プレーを相プレーを見せ、無事ケガ人もなく楽しく汗をかいた。

百名を超えるOBの参加をみた総会の後、招待者、現役を交えての式典が長年OB会に尽力された静岡県三会長の挨拶で始まり、元顧問で日本サッカー界で有名な多和健雄先生(元筑波大教授)永嶋正俊先生(Jリーグ規律委員長)のスピーチ、吉野尚也現校長の祝辞を頂き、清水真事先生(一九年間顧問)の乾杯の音頭で懇親会へ移った。そこでは、田中英道いずみ会会長、石神井高校サッカー部OB会代表坂間利昭先生(元顧問)より祝辞を頂き、昭和四十年代迄定期戦をしていた浦和高校サッカー部からの祝電の披露もあった。会場のあちこちで思い出話やサッカー談議に花が咲き、瞬間に

★お知らせ★  
高校8期同期会(昭和31年卒)  
日時 平成二年四月四日(土)  
午後四時  
会場 池袋東武バンケットホール  
(東武百貨店一四階)  
▲連絡先▼  
茂木光男 ☎0489-57-1673  
宇田川公子 ☎03-3702-2011

いずみ会ネット同好会  
Eメールで交流を図りましょう。  
趣味・仕事何でもOK  
連絡先：橋本高広 takesan@bn-net.or.jp  
山本高広 jo2883@mljfc.co.jp



サッカー一部 50年の重み

時間が経ち、最後に、会長と共に会を盛り立てて来た大竹恭麿氏(中2期)の皆の発展と健勝を祈念した挨拶で閉会となった。その後も出来上がったばかりの『創部五十周年記念誌』を手に、大泉学園駅周辺に場所を変えての交歓が深夜まで続いた。



七月二五日、朝日新聞社東京本社を訪れ、大森千明氏(高17期)にお話を伺いました。

.....

大森 出身は茨城県なんです。親父が復員してきて、郷里の潮来に帰っていた時に生まれたんです。東京に戻ってきたのは、幼稚園のとき。富士見台駅の北側ですが、当時は商店もなく殆ど畑でした。小・中学校は学芸大附属、世田谷の高等部は遠かったのですが、大森に進学しました。

和田 高校時代の思い出は？

大森 テストをサボって怒られたり、クラス全員でテスト前の体育の授業をサボる計画を立てていたのに従った、実際にサボったのは僕を含め数人しかいなくて(笑)、それからは学校ではおとなしくして、放課後や休みの日に自分の趣味の世界で楽しんでました。

和田 どのような趣味ですか。

大森 サイクリングです。自分で設計した自転車を持ってもらって、「ゼファー号」なんて名前もつけて、野火止とか川越とか友達としょっちゅう行ってましたよ。それと、鉱物や化石の採集が大

好きでした。日曜日になると、ハンマーとタガネを持って、五日市あ

大森千明 (おおもりのちあき)

高17期。東大法卒。朝日新聞社入社後、経済部記者として活躍。雑誌「AERA」(アエラ)創刊時、編集者として7年11月より、再び「AERA」編集室に復帰。練馬区石神井在住。

和田 本格的ですね。

大森 ええ、将来は山師になろうかと考えてました。それで、高三まで理科系のクラスを選択していたんですが、物理がどうにも判らず、夢はついえました。

「AERA」編集長

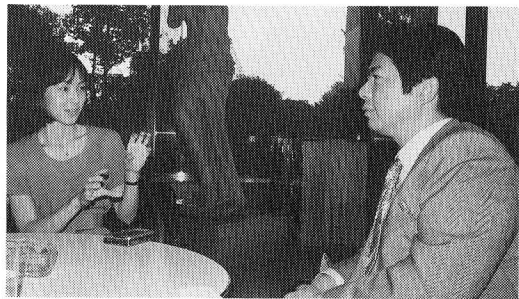
聞き手

和田 それで、新聞記者を目指した？

大森 記者の仕事は小学生の頃に憧れていたのですが、山師を諦めた後は「人権を守る弁護士になりたい」なんて方向転換しました。当時の風潮に影響されたんですね。

和田 それで法学部へ進みましたが、司法試験の短答式の問題を見たから、引っかけみたいのが一杯あって、何か嫌になっちゃった。とりあえずマスコミの世界にでも身を置いてみよう。でも、入社しちゃうたら終わりですよ(笑)。結構、熱中しちゃうんですね。

和田 入社以来の経歴を、簡単にお願いします。



朝日新聞社内喫茶室にて

大森千明氏に聞く

和田 眞保 (高37期)

大森 福島支局の記者を皮切りに横浜などの支局を回った後、本社の経済部に配属されました。それからは、経済畑を歩いています。「AERA」創刊時にスタッフとして参加して、その後再び経済部に戻り、一昨年の一月に、また「AERA」に帰ってきました。

和田 その一〇年間に「AERA」の目指すものは変わっていましたか？

大森 基本的なところは変わっていません。目線を低くするという。読者の身近にある大切な問題、皆がもつと知りたいたいと思ってることを題材にしていく、そういう方向によりむかっていますね。

編集後記

▼お気づきになられましたか？少しでも紙面を読みやすくするため、一段あたりの行数を四〇行から三八行に変更しました。「A4判にして文字を大きく」との声もあり、送料と情報量との狭間で頭を痛めています。

▼大森千明氏の取材は、インタビューアとしての経験をお持ちの和田眞保氏(練馬区議)にお願いしました。忙しいなかのご協力に感謝いたします。

▼会報づくりは、設計図どおりには行かないものです。今回も土壇場までジグゾーパズルを組み換えるが如き作業の連続になってしまいました。頂戴した玉稿に随分と手を加えることになり、申し訳なく思っています。

度重なる変更にも辛抱強くお付き合いくださいました一光印刷所の篠原昭氏(高6期)をはじめ従業員の皆さまに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。(高32期 仲沢浩一)

『会報いずみ』は、いうまでもなく皆さんのものです。読後のご感想・ご要望・その他いずみ会活動に対するご意見等をお聞かせください。

【あて先】〒112 文京区関口一―八―一六 七〇六 宇多正行法律事務所内 いずみ会事務局